

## 意見書案第7号

### 保育士不足を解消するため、保育士の処遇改善を求める意見書

上記事項に関し、別紙のとおり意見書を提出することについて議会の議決を  
求める。

平成30年6月22日提出

提出者	中間市議会議員	田中多輝子
賛成者	〃	柴田芳信
〃	〃	田口澄雄

## 保育士不足を解消するため、保育士の処遇改善を求める意見書

待機児童の解消は、保育施設の不足だけでなく、施設が開いていても保育士がいないため、子どもを受け入れることができないという保育士不足も大きな要因になっています。過疎地でも保育士確保が困難な状況にあり、保育士不足は全市町村に共通の課題です。

この要因は、保育士の賃金の低さや労働条件の厳しさにあります。

賃金では、一般労働者に比べ、月額で10万円程度低いことが国会でも明らかにされ、職員配置も手のかかる子どもが増えているにもかかわらず、実態とかけ離れた状況におかれ、休憩や休みが十分にとれず、疲労が解消できない状況におかれています。

そのため、職業として働き続けることができず、多くの保育士が辞めていく事態が進行しています。有資格の保育士は、現職保育士の2倍程度いるとされていますが、賃金を労働者の平均並みにすることや、実態に見合う職員配置を実現することなしには、保育士不足は解決しません。

よって、国におかれては、以下について緊急の対策を講じられるよう要望します。

1. 保育士不足を解消するため、保育士の処遇を大幅に改善すること。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出する。

平成30年6月22日

中 間 市 議 会

衆議院議長	大島	理森	様
参議院議長	伊達	忠一	様
内閣総理大臣	安倍	晋三	様
財務大臣	麻生	太郎	様
厚生労働大臣	加藤	勝信	様